

岐阜信金理事長に好岡氏

住田氏は
会長就任

岐阜信用金庫(岐阜市神田町)は23日までに、住田



好岡政宏氏



住田裕綱氏

裕綱理事長(69)が会長に就き、理事長に好岡政宏副理事長(63)が昇任する4月1日付のトップ人事を固めた。理事長交代は約6年ぶり。

好岡氏は名古屋市長大経済学部を卒業。1982年に入庫し、人事部長などを歴任し、2014年に理事に就任。常務、専務を経て、昨年6月に副理事長に就任

した。2年後の設立100周年に向けたかじ取りを担う。

住田氏は16年6月に理事長に就任。17年に愛知県春日井市、18年に稲沢市、小牧市に支店を開設し、尾張地域の営業基盤強化に注力。カンボジアの金融機関、ラオス計画投資省との業務提携を推進し、海外事業展開を目指す取引先企業の支

援を充実した。女性活躍推進を掲げ、女性職員のファイナンシャルアドバイザーの増員にも尽力した。

岐阜信用金庫の昨年3月末時点の貸出金残高は1兆3785億円、預金残高は2兆4837億円。岐阜、愛知県に計89店舗を持つ。